



天文台通信 10月号



日	曜日	月齢 (21時)	月	天文現象・イベントなど
1	木	20.4		月とすばる (M45) が近い
2	金	21.4		
3	土	22.4	●下弦	
4	日	23.4		
5	月	24.4		土星が衝、観察会
6	火	25.4		
7	水	26.4		
8	木	27.4		寒露
9	金	28.4		りゅう座流星群極大
10	土	29.4		
11	日	0.8	●新月	火星がM44を通過 (10/9~10/13)
12	月	1.8		スポーツの日、水星が東方最大離角
13	火	2.8		
14	水	3.8		
15	木	4.8		
16	金	5.8		
17	土	6.8		
18	日	7.8		
19	月	8.8	●上弦	
20	火	9.8		やぎ座ι(イオタ)星の食
21	水	10.8		
22	木	11.8		金星が内合、オリオン座流星群極大
23	金	12.8		霜降、後の月、観察会
24	土	13.8		
25	日	14.8		
26	月	15.8	○満月	
27	火	16.8		
28	水	17.8		
29	木	18.8		
30	金	19.8		
31	土	20.8		

※ は休館日



惑星	
水星	日没後すぐ、南西の低い空
金星	太陽に近く観望は難しい
火星	夜半過ぎ~明け方の東の空
木星	未明~明け方の東の空
土星	ほぼ一晩中みられる。観望の好機
天王星	21時ころ東の空~明け方西の空
海王星	ほぼ一晩中みられる。観望の好機

【観察会】

①10/5 (月) 19:00~21:30

※最終受付は21:00

②10/23 (金) 18:00~22:00

※最終受付は21:30

【火星の動き】

10月9日~13日は、かに座の星団、M44 (プレセペ星団) を火星が通過していく。M44は条件がよければ肉眼でもうすぼんやりとみることができる星団だ。双眼鏡を使うと、より多くの星をみることができる。

10月の明け方、東の空では木星が特に明るいが、その上のあたりに赤っぽくみえる星がある。それが火星である。

火星と周りの星々の位置関係の変化をたどると、火星がM44を通過しているのが体感できるかもしれない。



10/8~14 午前3時の空のようす
(StellaNavigator /Astroarts)

【後(のち)の月】

昔のカレンダー (旧暦) の9月13日の月を「後の月」とよぶ。

日本では、中秋の名月 (旧暦の8月15日) と合わせてお月見をする文化がある。寒さ対策をしっかりと、今年2回目のお月見を楽しもう!

◇発行：弘前市天文台

開館時間 18:00~22:00 (最終受付21:30)

開館日 毎週金・土・日曜日 (観察会の時は平日に開館することもあります)

入館料 無料

お問い合わせ ☎0172-33-6561 (弘前市立中央公民館、8:30~17:00)



天文台HP